

科学技術・学術審議会海洋開発分科会（第65回）（書面審議）

議事次第

日程：令和4年2月9日(水)
～ 令和4年2月16日(水)

1. 議事

(1) 海洋開発分科会における委員会の設置について

【配付資料】

- 資料1 科学技術・学術審議会海洋開発分科会の委員会の設置について(案)
- 資料2 海洋科学掘削委員会での議論における調査・検討項目(案)

【参考資料】

- 参考資料1 科学技術・学術審議会海洋開発分科会運営規則

科学技術・学術審議会海洋開発分科会の委員会の設置について（案）

海洋開発分科会運営規則（平成 13 年 4 月 9 日海洋開発分科会決定）第 3 条第 1 項に基づき、海洋開発分科会に以下の委員会を置く。

記

委員会	調査事項
海洋科学掘削委員会	国際深海科学掘削計画を含め、海洋科学掘削のあり方や方策について調査を行う。

（参考）

海洋開発分科会運営規則（平成 13 年 4 月 9 日海洋開発分科会決定）抜粋

第 3 条第 1 項 分科会は、その定めるところにより、特定の事項を機動的に調査するため、委員会を置くことができる。

海洋科学掘削委員会での議論における調査・検討項目（案）

海洋科学掘削の分野において、現行の国際深海科学掘削計画（IODP）が2024年に終了を予定しており、その後の体制について関係者による検討が開始されている。また、地球深部探査船「ちきゅう」の掘削実績を踏まえた掘削技術に関する検証が国立研究開発法人海洋研究開発機構において実施され、とりまとめ段階にある。

上記の状況を踏まえつつ、我が国の海洋科学掘削に関する今後の方針、ひいては今後の地球惑星科学の展望等について機動的に調査・検討を行うため、海洋開発分科会に海洋科学掘削委員会を設置する。同委員会には以下の項目の調査・検討を実施させることとする。

◆ 調査・検討項目

1. 我が国における海洋科学掘削の現状及び課題について
 - (1) 「ちきゅう」を用いた海洋科学掘削の現状及び課題
 - ア 現状
 - (ア) 建造当初の目標及びこれまでの活動実績・経費
 - (イ) 科学的視点による評価
 - (ウ) 社会的視点による評価
 - イ 技術面等での課題
 - (2) 「かいめい」等を用いた研究開発の現状及び課題
2. 我が国の海洋科学掘削を取り巻く動向
 - (1) 地球惑星科学分野の研究開発動向
 - (2) IODP の動向
3. 今後の海洋科学掘削を利用した地球惑星科学分野の研究開発の考え方
 - (1) 科学的視点：地震メカニズムの解明、地球環境変動の解明、海底下生命圏の解明、地球内部の組成・構造の解明 等
 - (2) 社会的視点：防災・減災への貢献、海底資源調査への貢献、カーボンニュートラルへの貢献 等
4. 国内外の研究資源を用いた今後の海洋科学掘削の方策
 - (1) 今後の海洋科学掘削の方向性
 - (2) 国際協力を通じた研究開発のあり方